

戦争と平和についてのおはなし会 ～道下小学校～

平成30年7月25日(水)に、道下小学校6年生を対象として「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

今年は実際に起きた出来事の時系列に合わせてまず最初に、8月1日から2日未明にかけておきた富山大空襲の石坂玲子さんの体験記朗読を聴きました。次に、8月6日、9日に広島長崎に投下された原子爆弾のことを学ぶために『被爆の爪跡』を視聴しました。



富山でも悲惨な空襲があったことを知り、戦争が身近な出来事であったととらえることができました



広島で被爆された中島徳男さんの体験記、長崎で実際に被爆者を看護した親族の話など被爆に関わる体験談を静かに聞きました。



短い時間でのお話でも、平和な現代からは想像もつかないような戦時中の悲惨な状況であった。私たちの住む日本で実際に起こった、今では信じられないような話が、こども達の心に響いているようでした。



**生々しい戦争の話を
しっかりとボランティアさんを見
つめてお話を聴きました。**

最後に、参加者全員で原爆詩を朗読してから、
原爆や戦争で亡くなられた方のご冥福と世界の平和を祈って黙とうをささげました。



平成 30 年 7 月 26 日（木）北日本新聞



平成 30 年 7 月 26 日（木）朝日新聞

